

タブレットで変わる教育環境

学校訪問

7/2 火

於 町内小中学校

日差しが強い朝、大沢小学校職員出入口から校舎の中へ入り、AEDの所在は？と気になり、確認するとプールの授業中はプールサイドへ持ち出しているという説明を受け「一刻も早く命を救うぞ」という意気込みが感じられました。町内学校でAEDが使用されたことはありませんかと質問に教育長から「町内ではAEDの使用例はありません」との事。また、円良田地区から通う児童の通学状況の質問に「車で送迎して学校の少し手前で降ろしそこから歩く」との事。松久小学校では児童のアレルギーについて質問しました。食物アレルギーの児童がおり、薬やエビペンを持参している。エビペンとは、アナフィラキシーが現れた時に使用する注射で、緊急時は本人以外が打つことも想定されています。美里中学校では嬉しい報告で「本校を卒業した教育実習生を8名迎えることになりました」との事。生徒が教員を目指すきっかけになった中学校の3年間で多大な影響を与えたと感じました。東見玉小学校ではタブレットの使われ方を質問。「スクールタクト」とは、先生が教えやすく生徒が学びやすい環境を作り、自宅で児童と先生がつながり学習できます。「Aードリル・キュビナ」とは、問題を間違えた時、その間違え方の原因をA-が解析し、原因を解決するためにその子が解くべき問題へと誘導します。「知識を正しく理解する」「理解した知識を定着させる」を促します。お忙しい中、学校訪問の機会を設けていただきありがとうございます。

文教民生経済常任委員会
委員長 堀越 賢司



『災害・防災と男女共同参画』

～避難所生活での課題～

講師

埼玉県男女共同参画推進センター
男女共同参画専門員 黒須さち子氏

講師から、埼玉県の災害・被害予測について説明を受けた後、東日本大震災の経験から、女性・男性で災害時の困難は違うこと、また避難所生活では女性のリーダーを増やし、被災者の多様な要望に 대응することが必要であると説明を受けました。災害時には、自助・公助・共助が大切で、とりわけ近隣で助け合う共助が重要であると感じた研修会でした。

総務建設常任委員会
委員長 田島 國利



見玉町議会議員前期研修会

8/1 木

於 神川町

議員のコンプライアンス

～「やるべきこと」と「やってはいけないこと」～

講師

元全国都道府県議会議長会
事務局次長 内田一夫氏

今回の研修では、マタハラ、票ハラ、マルハラなど、聞き慣れないハラスメントや、多くの議会のハラスメントの事例等を学びました。議員は、自らハラスメント行為を起こしてはならないと改めて感じた研修会でした。今後の議員活動に生かして行きたいと思えます。

総務建設常任委員会
委員長 田島 國利



美里町議会議員研修会

7/24 水

於 美里町